

保育所における自己評価

令和6年度

保育所名 第四保育所

<評価方法> 十分理解できている(十分できている)…◎ 理解している(できている)…○
ふつう…▲ 努力が必要…×

評価項目		◎	○	▲	×
職員の心がまえ	1 いつも新鮮な感覚を失わずに職務にあたっている	6	12	5	0
	2 相手を尊敬する態度を常にもち、職務にあたっている	9	13	1	0
	3 子どもの名前、保護者の名前、職員の名前をきちんと呼んでいる	7	8	6	2
	4 余裕をもって出勤し、勤務している	6	11	6	0
	5 事前に職務の準備をおこなっている	6	9	8	0
	6 整理整頓を心がけ、快適な職場環境づくりをした	9	11	3	0
	7 相手の立場を考えた行動、言葉、考えを意識している	8	10	5	0
	8 職員間でのコミュニケーションを大切にして信頼関係を築けた	8	13	2	0
	9 自身の健康管理はしっかりと行い、定期的に健康診断を受診できた	9	8	5	1
	10 保育所職員としてのプロ意識をもち、自己研鑽に励んだ	5	10	8	0
	11 常に報告、連絡、相談を心がけ、職員間で共通認識をもてた	6	12	5	0
	12 自分の役割分担を把握し的確におこない、周りへも気遣いの気持ちも忘れずに勤務した	7	11	5	0
	13 社会状況を常に把握し、保育に関するニュース、情報は交換しあい、保育以外の情報も豊かにするよう努めた	4	10	7	2

保育所における自己評価

令和6年度

保育所名 第四保育所

<評価方法> 十分理解できている(十分できている)…◎ 理解している(できている)…○
ふつう…▲ 努力が必要…×

評価項目		◎	○	▲	×
服 務 に つ い て	14 休暇、時間休は特別な場合(病気、事故)を除いて、前もって所長、総括に届出た	16	5	2	0
	15 休暇は計画的に取得することを心がけた	9	11	3	0
	16 庶務事務入力は、滞りなくすみやかに申請できた	7	11	5	0
	17 事故などにあつた時はすみやかに所長に報告することを理解している	13	10	0	0
	18 海外旅行については、所長に届出ることを知っている	15	7	0	1
	19 病気、怪我等により一週間以上休暇をする場合はすみやかに所長に届けることを知っている	16	6	1	0
	20 産前産後休暇、療養休暇、育児休業、部分休業等を取得をする場合は所長に届出ることを知っている	18	5	0	0
	21 動きやすく清潔感のある服装を心がけた	14	7	2	0
	22 職務中はサンダルなどを避け、自身の安全にも気を配った	13	8	2	0
	23 髪の毛は清潔にし、長い髪はたばねている	14	7	2	0
	24 子どもに危険を及ぼす装飾品は身に付けていない	16	6	1	0
	25 爪は短く、清潔にしている	15	8	0	0
	26 挨拶は常に明るく積極的にできた	14	7	2	0
	27 伝達報告は、簡潔かつすみやかにしている	10	10	3	0
	28 職場を離れるときは所長に報告している	14	8	1	0
	29 職務中の私用電話はしない、必要な場合はその場を離れることを伝える	14	8	1	0
	30 きれいな言葉づかいで心地よい会話を心がけた	7	11	4	1
	31 備品は大切に使用し、破損した時はすみやかに所長に報告する	11	9	3	0
	32 物品の保管場所を把握し、つねに整理整頓した	9	9	5	0
	33 物品は節約し工夫して使用し、私用には使っていない	15	8	0	0
34 出張及び研修会に参加した時は、五日以内に復命書を作成し所長に提出する	8	10	5	0	
35 住所、氏名、免許資格等に変更が生じたときは、すみやかに所長に届けることを知っている	16	7	0	0	

保育所における自己評価

令和6年度

保育所名 第四保育所

<評価方法> 十分理解できている(十分できている)…◎ 理解している(できている)…○
ふつう…▲ 努力が必要…×

評価項目		◎	○	▲	×
危機管理について	36 保育所では様々な個人情報把握できるので、職員は日頃から守秘義務について認識を高め、十分な自覚が必要であることを理解して職務にあたっている	13	10	0	0
	37 職員は保育所で知り得た情報については、児童福祉施設に従事するものとしての守秘義務が課せられることを知っている	16	7	0	0
	38 保護者や地域住民からの意見、要望、苦情は所長、総括に報告する	13	9	1	0
	39 相手の苦情内容を冷静に聴けるよう心がけている	9	11	3	0
	40 貴重品は常に自己管理をした	16	7	0	0
	41 給食室には、衛生管理上原則として入らないことを守っている	15	8	0	0
	42 職員は帰宅後または、休日などに、保育所又はその付近に火災、自然災害等の非常災害があった時、上司の指揮を受け直ちに出勤し、自らが適切な措置を講じることを心得ている	12	8	3	0
	43 不審者の対応に備えて、安全確保をするための対応策を日頃から心がけ、職員間で話し合っている	8	9	6	0
44 事故防止マニュアルの把握に努めた	7	12	4	0	

保育所における自己評価

令和6年度

保育所名 第四保育所

<評価方法> 十分理解できている(十分できている)…◎ 理解している(できている)…○
ふつう…▲ 努力が必要…×

評価項目		◎	○	▲	×
職員の 資質 向上	45 自分に与えられた場で最善の努力をし、向上に努めた	8	10	5	0
	46 個人目標達成のため自身の職務内容に応じた専門性を高めた	5	11	7	0
	47 役割分担の把握、見直しに取り組むとともにそれぞれの職位や職務内容等に応じて必要な知識及び技術を身に付けるよう努めた	5	12	6	0
	48 研修の参加が確保された	9	11	3	0
	49 職員の共通理解や協働性を高め、保育所全体としての保育の質の向上を図っていくために職場内の研修の充実が図れていると思う	9	8	6	0
	50 保育業務システムコドモンを積極的に活用できた	8	10	5	0
	51 地域の保護者に対して保育所保育の専門性を生かした子育て支援を積極的に行った	2	12	7	2
	52 勤務している保育所の保育目標、保育所独自の行事や取り組みを理解している	7	8	7	1

保育所における自己評価

令和6年度

保育所名 第四保育所

<評価方法> 十分理解できている(十分できている)…◎ 理解している(できている)…○
ふつう…▲ 努力が必要…×

評価項目		◎	○	▲	×
保育について	53 子どもの家庭状況を把握するよう努めている	10	7	2	0
	54 子どもの気持ちを十分に受け止めるよう努めている	9	7	3	0
	55 保護者とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係を気付くよう心がけている	10	7	2	0
	56 記録は日々整理するよう心がけた	7	9	2	1
	57 常に子どもの気持ち、保護者の気持ちになって考えた	10	5	4	0
	58 指導計画は「目標」「ねらい」を達成するために作成し常に配慮や振り返りを行った	9	4	0	0
	59 子どもには公平に接した	11	5	3	0
	60 一人一人の個性を尊重し、保育者として誠意と愛情をもって保育にあたることができた	10	6	3	0
	61 子どもの目の高さで話かけるようにしている	9	9	1	0
	62 名前は呼びすてにしていない	8	6	2	3
	63 子どもの事故は速やかにすべて所長総括に報告し記録した	10	6	3	0
	64 安全管理に充分注意し、事故防止に努めヒヤリハット事故報告書の共有をした	10	5	4	0
	65 常に注意力をもって予想される子どもの行動をとらえるよう努めた	11	7	1	0
	66 怪我等の事故の際には保護者へ十分な状況説明ができた	9	7	3	0
	67 一人ひとりの病歴、体質、平熱、身体的特徴を把握しておく	9	7	3	0
	68 普段と様子が違うときや、健康状態が思わしくない時は、保護者に的確に連絡ができた	10	7	2	0
	69 インフルエンザ、胃腸炎、プール熱等の感染症が流行する時期には、必要な情報や注意を知らせた。また、所内の感染症状況を把握し保護者へ知らせることができた	8	7	4	0
70 乱暴な言葉づかいをせず、保育中の私語は慎むよう心がけた	10	5	2	2	
71 保育中の不適切とされている午睡時、排泄処理、食事援助の対応などを理解し、子どもへの働きかけの言動を常に気を付けた	10	6	3	0	

保育所における自己評価

令和6年度

保育所名 第四保育所

<評価方法> 十分理解できている(十分できている)…◎ 理解している(できている)…○
ふつう…▲ 努力が必要…×

評価項目		◎	○	▲	×
保育中の心がまえ	72 朝の視診で機嫌の良否、外傷、熱、発疹の有無、顔色、顔つき、目の異常等を注意している	11	8	0	0
	73 コドモンを活用し、保護者と連絡を取りあえた	7	7	5	0
	74 連絡漏れの内容に、職員間で注意しあえた	9	6	3	1
	75 正しい検温のしかたを理解し、記録できた	11	5	3	0
	76 定められた午睡チェックの注意点を理解し、必要とされている午睡チェックをしっかりと行えた	10	7	2	0
	77 食事や授乳の際は言葉がけをしながら、心地よい雰囲気大切にしている	8	8	3	0
	78 職員は必ず石鹸で手洗い消毒をし、清潔に気を付けた	11	8	0	0
	79 配膳時、三角巾、エプロンを着用している	13	6	0	0
	80 給食の際に、苦手なものや完食の強要、～したら〇〇あげるなどの事柄のひきかえなどが不適切な対応であることを理解し、行わないように努めている	11	4	4	0
	81 排泄時の適切な対応を理解し丁寧に行っている	12	7	0	0
	82 子どもの排泄の様子を把握し、便の状態、後始末、トイレの使い方等を確認し、正しい使い方を知らせよう努めている	9	8	2	0
	83 排泄の失敗や交換時に不適切な状況、排泄が悪いことのような言動をしないよう注意している	14	5	0	0
	84 安全な沐浴の仕方を理解し行えるようにしておく。排便などの洗いは衛生管理上行えないことを理解し必要に応じて保護者へ伝えた	8	7	4	0
	85 身のまわりの清潔や習慣が身につくように年齢に合わせた援助を心がけた	10	7	2	0
	86 保育士がよき遊び相手になるよう努めた	9	9	0	1
	87 遊びを楽しめていない子には声をかけ、遊びに誘った	11	7	1	0
	88 積極的に戸外遊びを行った	13	5	1	0
	89 子どもに背をむけず、目を離さないことを心がけている	11	6	2	0
	90 遊びに合った場所の確保をし、運動遊びを積極てきにおこなった	9	9	2	0
	91 月齢、年齢にあった玩具、遊具を揃え点検をおこなった	9	6	4	0
92 保育士は笑顔で向き合い、愛情に満ちた働きかけができるよう心がけた	11	5	3	0	
93 ビデオ、テレビは視聴時間、距離などを考慮し適切に活用した	12	4	3	0	
94 散歩へ出かけるときは、事前点検をおこない、計画表を提出、必要な持ち物を確認し安全に行えるようにした	9	5	5	0	
95 安全管理を徹底しながら所庭での遊びを計画、実施した	11	5	3	0	
96 事前に安全なプール遊びの方法を理解し、常に事故防止に努めながら実施した	12	5	2	0	

保育所における自己評価

令和6年度

保育所名 第四保育所

<評価方法> 十分理解できている(十分できている)…◎ 理解している(できている)…○
ふつう…▲ 努力が必要…×

評価項目		◎	○	▲	×
保育環境整備	97 正しい消毒方法、清掃方法を理解し共通認識のもと衛生面には常に気を配ることができた	11	6	2	0
	98 保育所内の環境に気を配り、適切な環境構成に配慮した	8	6	5	0
	99 室内、戸外の安全点検をおこないながら、環境整備を実践した	9	6	4	0
	100 点検により不備があった場合は、改善に努めた。また、修繕が必要な箇所は報告をした	10	4	5	0

【全体の評価】

○職員の心がまえ

- ・職員心がまえについては、年1回所内研修を行っている。職員全体で確認することを継続していく。
- ・子ども達や保護者の方に笑顔で接することができるように、職員一人一人が自身の健康管理に努める。

○サービスについて

- ・概ね理解できているので、連絡や相談を忘れることなく、職員間で連携を取り合うようにする。
- ・公務員としての自覚を持ち、個人情報取り扱いや守秘義務を厳守する。

○職員の資質向上

- ・職員は積極的に研修等に参加し、専門知識を高め、学びを共有していく。
- ・保育業務コドモンの活用が始まり、職員間で共通理解ができるように所内研修を行っていく。

○保育について

- ・子ども達の健康管理に努め、毎日元気に過ごすことができるように心がけていく。
- ・言葉使いや名前の呼び方に気を付け、子ども達に丁寧な関わり方をしていくように意識を持って取り組む。

○保育中の心がまえ

- ・子ども達の体調の変化に気を付け、保護者の方と連絡を取り合いながら保育を行う。
- ・保育士が子ども達と一緒に遊び、子ども達の気持ちに寄り添った保育を心がける。

○保育環境整備

- ・子ども達の安全面と衛生面を考え、環境整備に取り組んでいく。
- ・保育所内安全点検は、毎月行っているため継続して実施する。改善点においては、早急に対応していく。